

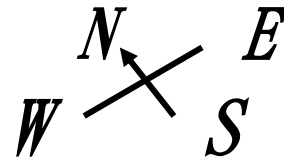
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会
(略称) 藤沢エコネット

2020年1月1日

第308号



主
な
記
事

- ・ふじさわ不戦のちかい平和行動
- ・福島原発事故後の地域問題を考える
- ・武田薬品門前行動・ヤップ島再訪

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

FAX 0466-87-4922

気候変動対策は 待ったなし!! ～脱炭素社会をめざそう～

気候変動問題をめぐっては、本年「パリ協定」は本格的にスタートし、各国は温室効果ガス削減目標の再提出を義務づけられている。日本政府はより意欲的な目標を示し、「2050年までにCO2などの排出を実質ゼロに向けて、現在の排出削減の見直し」を行うよう政策決定者は行動することが求められている。

これまでにない猛暑・集中豪雨・台風の大型化等により被害が多発したことでCO2など温室効果ガスは見えないけれど、温暖化の影響は否定できない。今後は、異常気象が常態化する気候危機事態となった。吉崎市、鎌倉市に続き、白馬村、長野県などが気候非常事態宣言を行っている。

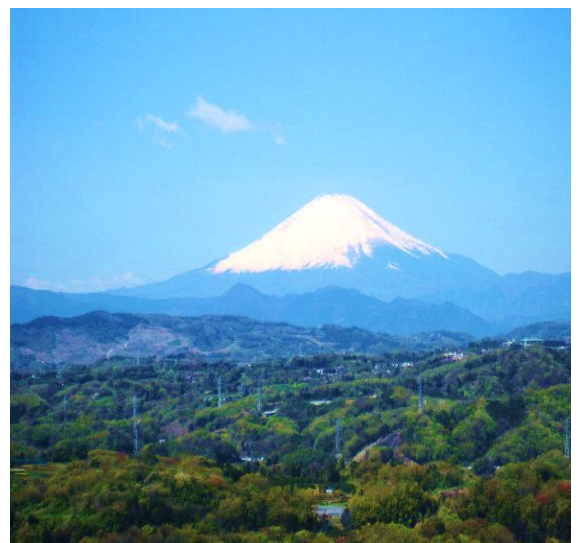
パリ協定では平均気温上昇を2℃に抑えるために2050年までにCO2の排出を実質ゼロにするには、できるだけ1.5℃未満に抑制することに合意した。

地球の平均気温は後戻りできない臨界点（ティッピングポイント）がある。2018年10月のIPCC総会で「1.5℃特別報告」は、地球平均気温は2030～2040年代には、+1.5℃になる可能性が高い。対策が早ければ、早いほど温暖化の被害は小さくすることができる。今なら、臨界点に達する前に後戻りできる可能性があるという示唆している。

藤沢市の温暖化対策のCO2削減は2022年度までに1990年比40%削減目標に対して2015年度には27.7%削減で、残り13%となっていた（環境白書2018）。ところが、2016年度の削減率は24.6%と後退したことが明らかになった。白書では、中間目標として2016年度は30.6%削減、さらに2019年度目標は35.3%で、約10%も乖離し、相当のテコ入れが必要という状況である。昨年12月に行われたCOP25を受けて、各国の温室効果ガス削減目標の野心的な目標引き上げを表明した国は121カ国に達している。しかし、日本はまだ、具体策を打ち出せていない。

気候変動は、我々の時代を決定づける「人類史的課題」である。世界中で数百万の若者たちが街頭に出て、リーダーたちに訴えた「あなたたちは私たちを見捨てている」と、そのようなリーダーを選んだのは私たち大人である。

日本では世論形成が遅れている。政策決定者を選ぶのは私たち市民である。ノーベル賞受賞者（藤沢市名誉市民）の吉野彰氏は「子どもたちは環境問題に恐怖感、疑問を持っている。大人が道筋を示して、心配しなくていいと言わなければならない」と訴えている。（宮地俊作）



湘南平から見た富士山 j・Tさん撮影

ふじさわ・不戦のちかい平和行動

2019年 12 月 8 日・・・太平洋戦争突入の日
に「不戦」を誓う

「武器ではなく 命のみずを！」・・・中村哲さんの
死を悼む

12 月 4 日、「アフガニスタンで車で移動中の中村
哲さんが、狙撃され亡くなった」というニュースが流
れて数日後開催された「ふじさわ・不戦のちかい 平和
行動」。当然のことだが、スピーチに立ったほとんど
すべての人が、あまりにも悲しい中村哲さんの死につ
いて語った。・・・「武器ではなく命の水を」「軍隊
で命は守れない」「日本の自衛隊は他の国の軍人も市
民も殺していない。だから、安全」「憲法 9 条がある
から日本人は信用されている」などの中村哲さんの言
葉が紹介された。今回の不戦のちかいの集いは「中村
哲さんの遺志
を継いで行動
しましょう」
という集いで
もあった。

一方、安倍
政権は憲法を
無視し、自分

たちで強行採決して決めた安保法制をも無視して、な
んと、防衛省設置法に基づく調査・研究だとして、中
東ホルムズ海峡周辺に自衛隊を派遣しようとしている。

だから、今回の不戦の集いは、戦争への道を突き進
むアベ政治に抗議する集会でもあった。

さて、12 月 8 日はジョンレノンの命日。オープ
ニングは「#どこでもアクション! の仲間たち」による
ジョンレノンの Give Peace a Chance の歌でスタ
ート。スピーチの合間には 華やかな衣装をまとって
の「月桃の花」歌舞団のエイサーやふじさわ合唱団の
コーラス、高校生平和大使の訴えも。フィナーレは再
度「#どこでもアクション! の仲間たち」が登場し、
リズムカルなリードによって All we are saying is
Give Peace a Chance〜! の歌声と参加者全員のコー
ールが辻堂の駅いっばいに響き渡った。道行く人々に
なにかひとつでも心に残るものがあるようにと祈りな
がら。

(斎藤隆夫)

福島原発事故後の地域問題を考える

多くの避難者を出した福島第一原発事故、福島では
故郷を汚染され帰りたいくても帰れない、農業や水産業
もできない、生活が成り立たない、これほど無法・非
道な世の中があろうか? と高橋巖日大教授は講演し
ました。

11 月 2 日、日大生物資源科学部食品ビジネス科地
域経済論研究室と福島の子どもたちとともに・湘南の
会の共催で学習会が行われ、高橋教授は脱原発の運動
にも長年関わり、原発の危険性やコスト、放射性物質
の管理に「ともかく原発は止めること!!」と述べました。

福島原発事故後も人類史上かつてない放射能災害は
農漁村にも甚大な被害を与えている、被ばく労働者の
非人間的な労働実態にも触れました。

エネルギー問題で承知のとおり、原発は建設コスト
も高いが国の補助金や電気料金で賄えるので東電の利
益になる。原発を止めれば電力はどうなる? との課題
は、きっぱり太陽光や水力、風力など自然再生可能エ
ネルギーで賄える。そして地産地消をすることで送電
によるロス(約 32%)が失われなくて済む。また災害
時にも対応できるし建設コストも安く早いとの利点も
あると話され
ました。

小水力発電
は安定した電
源で稼働率が
長く、日本の
伝統と関わり
馴染みやすい

利点があり、教授が例にあげたのは、東広島市の小規
模な発電所で 60 年以上供給し一般家庭の 185 世帯
分を賄っているという。原発を廃止しても電力不足に
はならない、すべての原発は即廃止すべきと述べまし
た。

予定していた講師の温品さんは急きょ欠席となりまし
たが、資料は下さいました。福島で放射能測定してい
る「ふくいち周辺環境モニタリングプロジェクト」の中村
さんは、空間や土壌の測定の活動をされ、データを色分
けして表示し知らせている報告もありました。

(福島の子どもたちとともに・湘南の会 荒井かつ子)



武田薬品漏えい事故 8 周年門前抗議行動

遺伝子組換え実験廃液漏えい事故から 8 年を迎え、12 月 9 日と 11 日、武田問題対策連絡会は、『武田薬品遺伝子組換え実験漏えい事故を忘れない』と、事故 8 周年門前抗議行動と市役所前行動をおこないました。

(下は市役所前宣伝行動)



武田薬品が 7 兆円もの巨額投資をした M&A により世界のメガファーマ（巨大製薬企業）入りした今年 2 月に武田薬品湘南研究所は漏えい事故を起こした『配管集積一括滅菌（集中滅菌）』の使用中止・撤去を藤沢市行政・市議会に報告しました。7 年余にわたって、その危険性を訴え続けた市民の願いが実ったのです。実験テーマの変化があるとはいえ継続してきた市民要求運動の成果といえます。ご協力いただいた市民の皆様感謝するとともに、これからも「遺伝子組換え実験」の安全・安心な実施を監視し続けなければなりません。

肥大化する湘南アイパークは、56 社の企業が雑居し、さらに 200 社を目指すという今日、県助成金・インベスト神奈川の当初 80 億円の対象の研究業務内容に変更があったとし、県は計約 10 億円減額しました。今年はさらに減額の予定との事です。その上、漏えい事故等の可能性は高まり、更なる注意喚起が必要です。そのためにも巨大組織を監視する一般市民を含めた「安全協議会」が必要ではないでしょうか？！「安全協議会の設置」と「情報公開」を求めて運動を続けます。湘南アイパークの安全管理体制は武田薬品が負いま



すとの表明はありますが、藤沢市と鎌倉市の両行政の責任も重いものです。行政による適切な指導を要望していきます。

(武田問題対策連絡会 福岡秀治)

ヤップ島 再訪

今、地球上の約 7 割のサンゴが死滅していると言われています。40 年ほど前に見たサンゴ礁の海は今や見る影もありません。



ヤップ島では元気な姿の造礁サンゴを見ることができました。水温上昇などの影響はあるにせよ、“潮通し”のいい海域には素晴らしい造礁サンゴが

広がっています。ただいつでも誰でも行けるわけではありません。潮汐や海域独特の潮流などを熟知しているガイドが必要です。今航海でも、各寄港地の友人達にお世話になりました。ヤップでは、Nature's Way を主宰する日本人女性スーさんに接岸岸壁の確保からクルーのめんどろ、ガイドまでお世話になりました。そして、何より長年現地での生活を通して得た経験と常に現地を目線で見ることの大切さを私達に伝えてくれます。

各国、各島の人々、自然や文化などから学ぶことは



多いと共にそこに暮らす日本人の方々からも多くの“気づき”をもらっています。

VelvetMoon

は針路を北に向け一気に日本を目指すことにしました。父島までの 1080 マイル (2,000 km) 8 日間の航海です。初航路でもあり、クルーの命を預かる船長としての腕が試されます。小笠原海上保安署に送信した ETA (到着予定) は 24 (日) 13:00、写真のヤップの亀さんよりは早い艇速を期待しています。

(武本匡弘 ヨット Velvet Moon 航海中 2018.6)

ヤップ島から父島へ

ヤップ島から7回の夕日を見て父島に着きました！今航路のクルーは29歳の女性から70代の男性陣までの構成 計6名と船長の私。

「海に何でも捨てればいいんだ！」という人もいれば環境意識が高いニュージーランドに居住経験のある女性クルーはそんな言動にびっくり仰天！環境教育の重要性和育った時代の違いを感じさせます。



写真上、船上から見る太平洋の夕陽。

「美しい！」と思う気持ちは世代を超え皆同じ。

写真下は父島着翌日の浜。外海で一番目にする浮き球(プラスチック)、夜間走行中船に当たるとすごい音で驚きます。



そして、漂着漁網。もしスクリューに絡まると深刻なことに、正に、「海面の凶器」世界遺産父島の浜はまるで”本土”からのごみの集積場(?) そのほとんどがプラスチック製品です。

(武本 匡弘 ヨット航海中 2018.6)



放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上50cm

12/11 藤沢駅南口 0.044

12/12 辻堂駅北口 0.044

12/25 静岡県忍野八海 0.033

ECONET INFORMATION

▲「待ったなし！ストップ地球温暖化」

講師:県地球温暖化防止活動推進員・藤沢市環境総務課

2020年1月17日(金) 14:00-15:30

藤沢市役所本庁舎5階 5-1会議室

【申込】当日会場にお越しください(参加費無料)

問合せ:藤沢市地球温暖化対策地域協議会 江上賢治

電話&FAX 0466-82-8984

▲「第五福竜丸」上映会

1/29(水) 13時 16時 19時 3回

1/31(金) 2/1(土) 2/5(日) 各18時から

参加費¥1000 小中高生¥500

申込み 0466-50-0117

主催 エコストア パパラギ



▲こんな外来種に注意を! シンポ

2020年1月25日(土)13:00-16:50

日本大学生物資源学部 1号館 131 講義室

主催: NPO神奈川県自然保護協会 参加無料

▲平和の輪をひろげる集い

2月9日(日) 13:30-16:30

場所/藤沢市民会館小ホール

「広島・長崎派遣報告」映画上映「母と暮らせば」

申込み 0466-50-3501 参加費無料

主催/藤沢市・藤沢市平和の輪をひろげる実行委員会

▲藤沢エコネットから

◆学習会「気候非常事態を考えよう」

日時: 1月18日(土) 14:00~16:00

場所: エコストアパパラギ 参加費 300円

話題提供/COP25について 宮地俊作

申込先: 青柳 E-メール: aoyagi6090@gmail.com

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 1月10日(金) 10:00~

市民活動プラザむつあい

《編集後記》謹賀新年。押し寄せる気候危機、大揺れの政界、激動の年が明けました。良い方向に向かうか否か市民の力が試されます。2月は市長選挙、福祉中心か大型開発か、待ったなしの温暖化防止政策、目標を見直し更に前に進めるのか否か等問われています。今年も環境都市藤沢・SDGsの実現を目指して、皆様とともに微力を尽くしたいと思います。(A)